



じもと

HOLDINGS

じもとホールディングス ミニディスクロージャー誌



きらやか銀行



仙台銀行

2014
3月期





つなぐ、つながる。

「お客さまに喜ばれ、信頼され、『じもと』とともに
進化・発展する新たな金融グループの創設」
それが基本理念です。

宮城県と山形県は、産業経済・生活文化・危機対応等、あらゆる面で密接な交流が活発化しており
今後も県境を越えた同一経済圏として発展することが期待されています。

じもとホールディングスは、宮城・山形両県にまたがる金融グループとして、両県の人・情報・産業を
つなぐ「架け橋」となり、グループ統一の営業戦略である「本業支援」を通じて地元経済の復興と
発展に貢献してまいります。

じもとホールディングス

- 設立年月日 平成24年10月1日
- 本社所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- 電話番号 022-722-0011(代表)

- 資本金 170億円
- 上場取引所 東京証券取引所
- ホームページ <http://www.jimoto-hd.co.jp/>

Profile

きらやか銀行

- 本店所在地 山形市旅籠町三丁目2番3号
- 電話番号 023-631-0001(代表)
- 設立年月日 平成19年5月7日
- 資本金 227億円
- 預金・譲渡性預金 12,567億円
- 貸出金 9,438億円
- 従業員数 954人
- 店舗数 117カ店(県内99カ店、県外18カ店)^(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗
統合による実質店舗数は78カ店(うち出張所3カ店)
(県内62カ店、県外16カ店)、インターネット支店を除く。
- ホームページ <http://www.kirayaka.co.jp/>

仙台銀行

- 本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- 電話番号 022-225-8241(代表)
- 設立年月日 昭和26年5月25日
- 資本金 224億85百万円
- 預金・譲渡性預金 10,194億円
- 貸出金 5,750億円
- 従業員数 719人
- 店舗数 72カ店^(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式
での店舗統合による実質店舗数は61カ店
(うち出張所4カ店)。
- ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>

TOP Message



じもとホールディングス誕生を契機に、宮城・山形両県のお客さま同士の自発的な交流が活発化しています。お客さまの喜びは銀行員の喜び。喜んだ行員はもっと頑張り、お客さまの事業拡大が期待されます。事業拡大で雇用が生まれれば仙山圏に人が集まり、地域経済が発展します。このような好循環を目指し、じもとホールディングスは本業支援についてより一層工夫と努力を重ねてまいります。

株式会社 じもとホールディングス会長
株式会社 仙台銀行 頭取

鈴木 隆

HUMAN PROFILE

鈴木 隆 (TAKASHI SUZUKI)

- 株式会社 じもとホールディングス会長
- 株式会社 仙台銀行頭取
- 座右の銘「花となるより根となろう」
- 最近読んで感銘を受けた本：
・「稲盛和夫最後の闘い」 大西康之 著
- 最近読んで面白かった本：
・「宰領 隠蔽捜査5」 今野 敏 著



山形・宮城の情報に徹底的にこだわり本業支援を行っていく。これはじもとホールディングスの使命と責任です。情報という武器を持ち、じもとホールディングスの文化を創っていきたくと強く思っております。

「山形・宮城の情報はじもとだ」

「山形・宮城の取引ならじもとだ」

このようなお客さまからの喜びのお声をいただける本業支援を今後も行ってまいります。

株式会社 じもとホールディングス社長
株式会社 きらやか銀行 頭取

栗野 学

HUMAN PROFILE

栗野 学 (MANABU AWANO)

- 株式会社 じもとホールディングス社長
- 株式会社 きらやか銀行頭取
- 座右の銘「There is always another way」
- 最近読んで感銘を受けた本：
・「経済は「競争」では繁栄しない」
ポール・J・ザック 著
- 最近読んで面白かった本：
・「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて
慶應大学に現役合格した話」 坪田信貴 著

じもとグループの中長期的な戦略展開

中小企業の皆様のためにできること＝【本業支援】を両行で展開

じもとグループは、人材育成や組織づくりを計画的に進め、宮城と山形の「人・情報・産業」をつなぎ、中小企業のお客さまへの「本業支援」を中長期的に展開してまいります。

お客さまの経営課題を徹底的にお聴きし、グループをあげて課題解決に取り組み、復興支援やビジネスマッチング等を通じ、地域経済の復興と発展に貢献する方針です。



じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円、%)

	25年3月期	26年3月期	前年同期比	増減率
経常収益	33,838	41,548	7,710	22.7
経常利益	2,036	6,114	4,078	200.2
当期純利益	1,950	4,661	2,711	139.0

平成26年3月期の連結業績は、経常収益は415億48百万円、経常利益は61億14百万円、当期純利益は46億61百万円となりました。

※25年3月期の連結決算は、24年10月のじもとホールディングス設立に際して、企業結合会計上の取得企業をきらやか銀行としたため、きらやか銀行の連結決算を基礎に、仙台銀行の平成24年10月～25年3月の連結決算を連結したものとっております。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

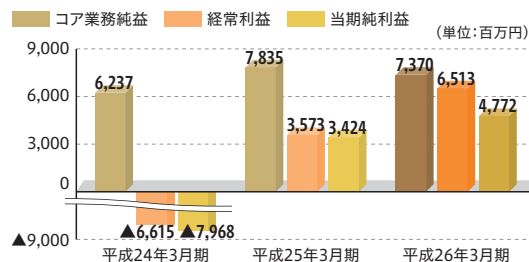
(単位:百万円、%)

	2行合算			
	25年3月期	26年3月期	前年同期比	増減率
経常収益	43,727	41,538	△2,188	△5.0
業務粗利益	33,937	33,078	△858	△2.5
経費 (除く臨時処理分)	25,595	25,660	65	0.2
業務純益	9,076	7,514	△1,562	△17.2
コア業務純益	7,835	7,370	△465	△5.9
経常利益	3,573	6,513	2,940	82.2
当期純利益	3,424	4,772	1,348	39.3
貸出金	1,489,194	1,518,935	29,740	1.9
預金等 (譲渡性預金を含む)	2,205,421	2,276,217	70,796	3.2
有価証券	694,515	736,578	42,062	6.0

2行合算の経常収益は、前年同期比21億88百万円減少の415億38百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益が増加したものの、資金利益の減少等により、前年同期比4億65百万円減少の73億70百万円となりました。

経常利益は前年同期比29億40百万円増加の65億13百万円、当期純利益は前年同期比13億48百万円増加の47億72百万円となりました。



じもとホールディングスの「本業支援」

協調融資・紹介融資の実績

(単位:件、百万円)

		25年度 上期	25年度 下期	合計
協調融資	件数	9	8	17
	金額	3,677	5,446	9,123
紹介融資	件数	6	6	12
	金額	517	134	651
合計	件数	15	14	29
	金額	4,194	5,580	9,774

ビジネスマッチングの実績

(単位:件)

	25年度 上期	25年度 下期	合計
成約件数	7	23	30
顧客間交渉件数	22	61	83
合計	29	84	113

じもとホールディングスは、平成25年度より「本業支援」をグループ統一行動指針として掲げ、「お客様に喜ばれ、信頼される銀行」を目指し取り組んでおります。

平成25年度の両行間の協調融資・紹介融資の実績は、津波被災地の建設業者への寄宿舎建設資金を支援するなど29件・97億円となっております。

また、ビジネスマッチングの実績は、被災地の水産加工業者へ山形県の商品卸売業者を紹介するなど、成約件数は30件(顧客間の交渉件数は83件)となっております。

じもとグループの

「チームきらやか」でお客様の販路拡大を支援!

山形県南部に位置する飯豊町で米農家を営む有限会社銀波様は、お米の生産から販売まで一貫して行っています。新野社長は飯豊ブランド米の販路拡大を考えていました。

長井支店ではアクティブリスニングを行い、社長の経営課題をお聴きし販路を広げようと本業支援を展開しました。店内連携はもとより、他の店舗との連携や本業支援推進部、仙台法人営業部などの本部も絡めた積極的な本業支援を行いました。

『根本にあるのは「お客さまに喜んでもらいたい」という気持ち。お客さまのために何かできることがないか考えています。』(長井支店 寺岡主任)



自然豊かな飯豊町の田園風景

本業支援内容 有限会社 銀波

- ・「きらやか横丁」出展及び当日支援
- ・「両行合同食の商談会」参加
- ・販売業者の紹介
- ・ネット販売紹介
- ・仙台への販路拡大支援
- ・仙台の業者からの商品提案

お客さまに様々な
角度からの
本業支援を展開

お客さまの言葉

きらやかさんの担当者には本当に感謝しています。昔からの付き合いだけでも、家族のような信頼関係で結ばれていますよ。

有限会社銀波
代表取締役 新野 純一様



お客さまの
抱えている

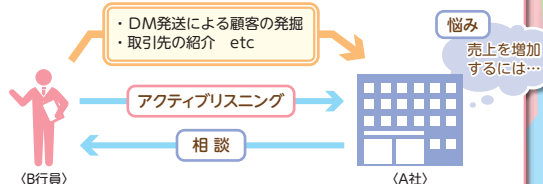
新たな発想でお客さまをサポート!!

お客さまは、業歴が長く、地域の「顔」でもある、まさに職人氣質の社長様です。そんな社長様は売上増加の方法について悩んでおられました。その悩みを、取引金融機関ではない当行の担当者へ相談してくださいました。

当行の担当者は、社長様のお話を聴くことで事業内容を把握し、売上増加に向けて社長様とともに課題の洗い出しを行いました。担当者は、DM発送による潜在的顧客の発掘の提案と、新たな取引先として当行取引先である不動産業者をご紹介します。社長様には当行の「本業支援」に大変好感をもっていただき、取引をしていただくことになりました。

本業支援内容 内装工事業

- ・顧客データの管理と分析
- ・不動産業者の紹介



本業支援とは



お客さまの言葉

今後の販売戦略を考えるうえで大変参考になりました。仙台銀行に専門家を紹介いただいたおかげです。本当にありがとうございます。

有限会社趙さんの味
代表取締役 宮本 里四様

販路拡大へ外部専門家とサポート

多賀城市でキムチ等の食品製造を営む有限会社趙さんの味様は、東日本大震災による津波で本社工場が損壊。その後、補助金並びに当行などからの融資により、工場を再建し事業を再開しました。

再開後、経営上の悩みを伺ったところ、「工場は再開したが、もっと当社の商品を知ってもらうため、販路拡大に努めたい」というニーズをお聴きました。

そこで当行は、中小企業庁の専門家派遣事業を紹介し、専門家を交えて今後の販売戦略を相談しました。専門家から、「韓国料理の知識に詳しい従業員を活用し、対面販売などを強化してはどうか」などのアドバイスをもらい、その後、数社の新規取引が成約となり、同社から大変喜ばれました。



本業支援内容 有限会社 趙さんの味

- ・販売戦略策定のための専門家の紹介
- ・スーパーとのビジネスマッチング実施

課題

お客さまの言葉

今回の提携を機に、オーナー様へより良いサービスを提供できるよう努力してまいります。

株式会社平和住宅情報センター
代表取締役 奥山 俊一様



オーナー紹介で賃貸管理ビジネスを支援

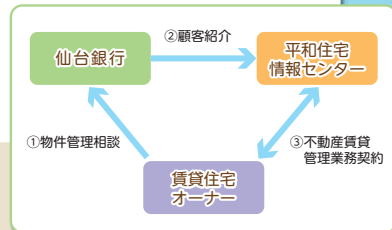
仙台市で賃貸住宅管理業を営む株式会社平和住宅情報センター様は、40年近い業歴の中で、入居者の募集や管理に関する様々なノウハウを蓄積しております。

当行は、同社が保有する物件管理面のノウハウを、当行取引先の賃貸住宅オーナー向けに広く活用することが可能と考え、同社との顧客紹介スキームを提案し、提携することになりました。

この提携により、同社は当行からの紹介による管理棟数、戸数の増加が見込まれます。また、賃貸住宅オーナーは、空室率減少やコスト削減などの効果が見込まれることから、紹介によって両者がともに発展していくことが期待されます。

本業支援内容 株式会社 平和住宅情報センター

- ・顧客紹介スキームの提案
- ・取引先紹介に係る業務提携契約の締結



お客さまの為に出来る事

「何か人の為に役立てる仕事がしたい」、これは私自身が銀行員になろうと思った一番の理由です。この純粋な気持ちを反映させられるのが当行の本業支援です。本業支援は単なるサービス提供とは違います。お客さまの数だけ存在するものであり、決して同じものは存在しません。そして、お客さまの想い(悩み・夢)を受け止め、お客さまと共に築き上げていくものだと思います。

本業支援は、仙台銀行との連携により、じもとホールディングスだからこそできるサービスでもあります。お客さまを取巻く環境は更に混沌とする経済情勢の中で、より多くのお客さまの想いを受け止め、想いの実現に向けて共に歩み、被災地の復興に貢献してまいります。



プロフィール

きらやか銀行 弓の町支店

工藤 俊幸 代理

法人兼個人渉外担当

趣味は釣りと観光地巡り。
写真は冬景色ではありませんが、
“津軽海峡”です！

取組み事例

株式会社後藤総合税経様は仙台市内を中心に200先以上の顧客を抱える市内有数の税理士事務所です。同社の「顧問先企業様の発展なくして、当社の発展はあり得ない」という経営理念に共感し、税務で悩んでおられるお客さまを同社に紹介しました。また、同社は業歴の浅い顧客も多く抱えており、同社とともに事業計画の策定や資金繰り管理等を支援することで当行とも新規でお取引を頂いております。



株式会社 後藤総合税経
代表取締役
後藤 俊朗 様

VOICE 喜びの声

弊社は「顧問先企業様の発展なくして、当社の発展はあり得ない」という経営理念のもと、お客さまと共に成長する集団を目指しております。こうした経営理念を実現する為、相続・M&A等にも対応するコンサルティング機能も兼ね備えております。また、独立・創業を目指す顧客の支援も積極的に行っております。

その中できらやか銀行は弊社に対する支援の他、顧問先に対する支援を頂いております。特に新規創業者や創業して間もない顧問先に対して、適切な資金対応を頂いている他、事業計画の策定・経営に対するアドバイスを頂いております。担当の工藤さんは、顧問先の事業内容を十分理解頂き、フットワークが軽く、スピーディーな対応を頂いております。

今後も弊社の経営理念実現に向けて顧問先の発展の為にサポート頂きたいと思っております。

本業支援を通じて津波被災地の農業復興をサポート

仙台市沿岸部の株式会社みちさき様は、東日本大震災の津波で被災した農地に大規模な野菜の水耕栽培を導入し、「農業の復興と変革」を目指すプロジェクトを進めています。

津波被害が甚大であり、農業が復興できるのか不安な面もありましたが、私は、菊地社長と何度も話をする中で、「被災地から日本の農業を変えたい」という熱い想いを受け止め、事業立ち上げを全面的にサポートしてきました。

現在、みちさき様では大型の栽培ハウスが完成して第一歩を歩みだされましたが、真価が問われるのはこれからです。当行も「本業支援」を通じて、様々な経営課題の解決をお手伝いし、被災地の農業復興に貢献していきたいと考えております。

取組み事例

東日本大震災の津波被害を受けた仙台市蒲生地区で、地元農業者が設立した株式会社みちさき様は、野菜類を生産する大規模養液栽培施設の建設を計画。仙台銀行は、日本政策金融公庫との協調融資や三菱商事復興支援財団への出資要請など、同社の事業立ち上げに際して全面的なサポートを行いました。



株式会社 みちさき
代表取締役
菊地 守様

VOICE 喜びの声

東日本大震災により、仙台市蒲生地区では農地に壊滅的な被害を受けました。弊社は、「農業による復興のまちづくりを実践し、10年後、20年後の農業の道先案内人になること」を理念に設立し、大規模な養液栽培施設による野菜等の生産を開始いたしました。この施設では、年間を通じて安定した野菜供給を目指し、特色のある野菜づくりを行っていく計画です。

仙台銀行には、平成23年の事業構想段階からいち早く相談に乗っていただき、また、農業分野への理解度が高く、適切なアドバイスや資金提供を行っていただきました。

今後も地元金融機関として、弊社並びに地域農業の発展に協力していただきたいと願っております。



プロフィール

仙台銀行 南小泉支店
(現 松陵支店)

今野 剛治 次長
渉外担当

休日の過ごし方

地元の少年野球チームのコーチとして子どもたちを指導しています。



お客さまの“想い”に真剣に向き合う「きらやかさん」

■日々の業務に対する想い

女子渉外として初めて担当した新潟県村上市の海府地区は、高齢化・過疎化が進んでいる地域であり、銀行からの訪問を必要とするお客さまが沢山いらっしゃいます。訪問するたびにありがたい感謝の言葉を頂き、お客さまとのふれあいを重ねるうちに『ご愛顧頂いていることへの恩返しをしたい！地域の方々の役に立ちたい！』との想いを強く抱きました。

商品を通してお客さまに喜んで頂くだけではなく、**お客さま一人ひとりの“想い”に真剣に向き合い、心を寄せ合い、笑顔に、そして幸せになって頂くこと。それが私の願いであり、生きがいです。**全てのお客さまに真剣である“きらやかさん”を目指して、私自身も毎日笑顔で進みます。

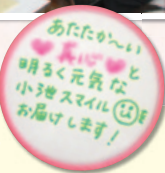
■小池'S Happiness

尊敬する先輩より『**お客さまとの心の距離を近くする秘訣**』を教わり実践。お客さまから教えて頂いたレシピを参考に、初めてお饅頭を手作りし、日頃の感謝とお礼の気持ちを込めてプレゼントしました。お客さまはとても喜んで下さって、『小池さんのファンです、ありがとう』とお言葉を頂きました。**心と心が通い合い、幸せを共有できた最高の瞬間でした。**

輝くきらやかさん！



小池'S
ハートフル
バッジ



プロフィール

きらやか銀行 新発田支店
小池 千春 主任
個人渉外担当

私のHAPPY TIME

私のしあわせは『家族』。家族想いの主人と長男と一緒に過ごす時間が何より幸せです。家族の理解と協力に、心から感謝しています。



小池さんは今年3月に特殊詐欺を防止し、村上警察署から表彰を受けました。

VOICE 小池主任を見守り育てた所属長

富沢支店 **三浦 仁 支店長**
(前所属店 元支店長)

きらやか銀行の阿川佐和子。ひとつ違うのは阿川さんは「聞く力」、小池さんは「聴く力」。
(笑顔+愛情)×聴く力=ご愛顧、これが小池さんの小池さんたる真価。引続き無限の進化が大いに期待できる小池さん。みんなのしあわせのためにこれからも活躍下さい。

村上支店 **岸 伸一 支店長**
(前所属店 支店長)

小池主任は常にお客さまの目線に立ち、お客さまのために何ができるのかを考え、お客さまから喜んで頂ける行動を心掛けています。特殊詐欺防止についても、「お客さまのために」という小池主任の信念が実を結んだものと確信しています。

新発田支店 **渡邊 隆幸 支店長**
(現所属店 支店長)

初めての勤務地で旧城下町というわかりづらい道路のため、顧客訪問も思うように辿り着けず悪戦苦闘中ですが、持ち前の明るさとお客さま想いの熱心さが徐々に伝わり始め、千春ファンが広がりつつあります。これまで同様にこの新発田でもお客さまの想いに向き合って話を伺い、ライフプランのお手伝いをしながら喜んで頂けるよう一緒に頑張りたいです。

※「きらやかさん」は当行の窓口、内勤行員、個人渉外、預かり資産担当の総称であり、「お客さまの笑顔に出会える窓口」を目指して「ハートフル作戦」を展開しています。“お客さまから喜んで頂き、きらやか銀行を選んで頂くこと”を最終目的に個人のお客さまへのサービス向上を図っております。

お客さまの“想い”をかたちに

■日々の業務に対する想い

私たち預かり資産担当者は、資産運用の提案やアフターフォローのため、お客さまへの訪問活動を行っています。

私たちが心がけていることは、しっかりとお客さまと向き合いご希望やご要望などの“想い”を聴き取り、出来るかぎりの「最善の提案」を行うことです。

このため、お客さまを訪問する際は事前に検討を重ね、「お客さま一人ひとりに合った提案」ができるように心がけています。

また、大切な資産の運用を提案する立場として、「常にお手伝いできること、お役に立てることは何か」と考えながら行動しています。

今後もお客さまの“想い”をかたちにして、ご満足いただくことを目標に、日々取り組んでまいります。



プロフィール

仙台銀行 窓販営業課
佐野 明子 課長代理
FA(資産運用サポートチーム)

仙台銀行 北山支店
佐々木 照恵
預かり資産担当

街のおすすめスポット

仙台市青葉区北山の「輪王寺」では、一年を通して四季折々の花々を楽しむことができます。



取り組み事例

当行取引先の女性のお客さま宅へ訪問。「主人の死亡保険金をこれまで残してきたが、今後は自分の趣味などに少しずつ使いながら、将来的には娘に受取ってほしいと考えている」というニーズをお聴きしました。

以上のお話を踏まえ当行では、その運用ニーズに応えるため、終身保険の親子リレー商品をご提案し、ご成約いただきました。

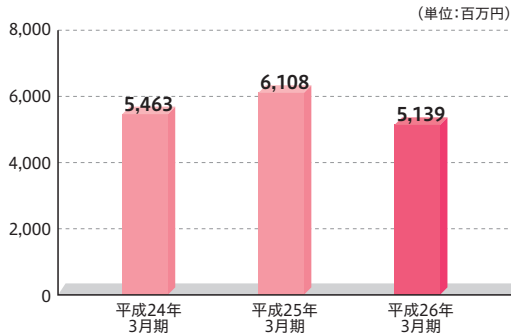
VOICE 喜びの声

最初は主人が私に遺してくれたお金だから、自分で使おうと思っていましたが、自分が主人からしてもらったように今度は娘に遺してあげたいと思うようになりました。ただその方法がわからず、いずれ相談をしたいと考えていたところ、仙台銀行から資産運用の提案をいただきました。自分も使いながら、ゆくゆくは娘も受け取ることが出来ることは、主人の想いも、私の想いも繋がっていくようで嬉しいです。

業績ハイライト(単体)

コア業務純益の状況

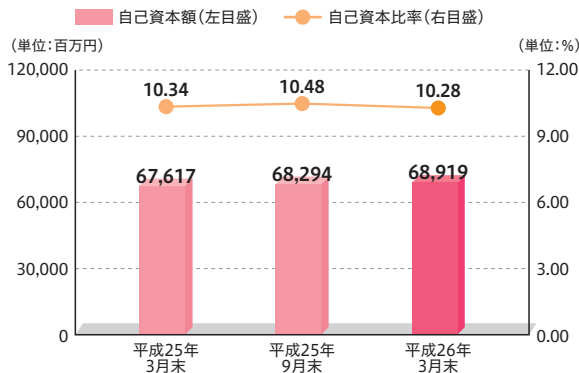
銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益が増加し、物件費が減少した一方で、資金利益が減少したことなどから、前年同期比9億68百万円減少の51億39百万円となりました。



自己資本比率の状況

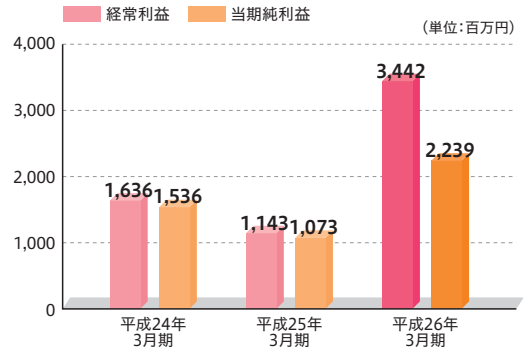
単体自己資本比率は、10.28%となりました。

※平成26年3月末より、改正後の自己資本比率規制(パーゼルⅢ)が国内基準に適用されたことにより、従来の自己資本比率との算出方法が異なっております。



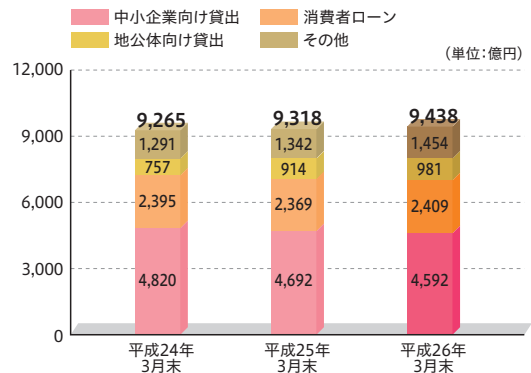
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は前年同期比22億98百万円増加の34億42百万円、当期純利益は前年同期比11億66百万円増加の22億39百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業向け貸出が減少したものの、住宅ローン貸出を中心とした消費者ローンや地方公共団体向け貸出が増加したことなどから、平成25年3月末比119億80百万円増加の9,438億47百万円となりました。

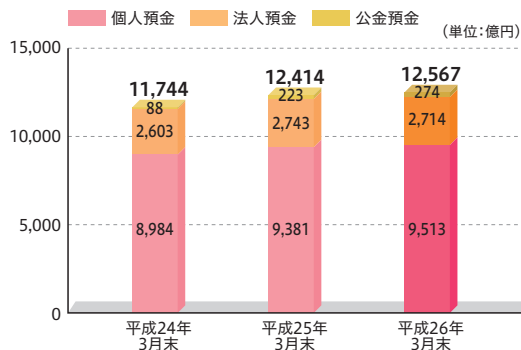


用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

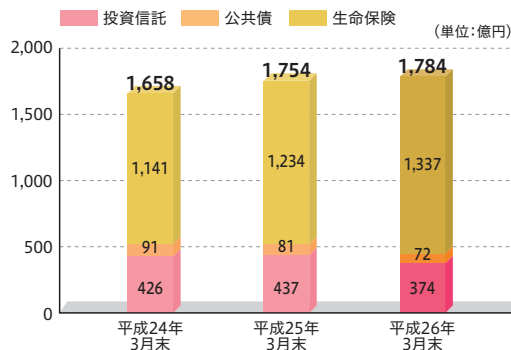
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、両行合同で実施したキャンペーン預金への預入増加などにより個人預金が増加したほか、公金預金も増加したことから、平成25年3月末比153億69百万円増加の1兆2,567億79百万円となりました。



預かり資産の状況

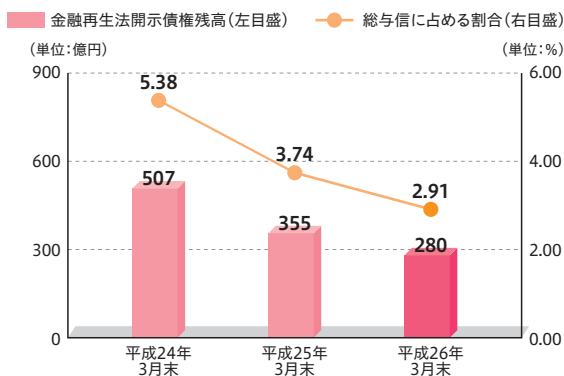
預かり資産残高は、安定志向にあるお客様ニーズの取込みなどにより生命保険残高が増加したことなどから、平成25年3月末比30億55百万円増加の1,784億63百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成25年3月末比75億74百万円減少の280億24百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成25年3月末比0.83ポイント低下の2.91%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



当行は、平成23年2月、取引先企業再生支援のためのコンサルティング機能の発揮及び強化を目指し、完全子会社となるきらやかターンアラウンド・パートナーズ株式会社を設立、平成24年5月、当行が所管する貸出債権125億59百万円を会社分割により承継いたしました。

平成26年3月末現在における同社との連結開示債権残高は、300億55百万円で、開示債権比率は3.11%となります。

なお、同社は、平成24年3月、日本政策投資銀行と資本及び業務提携に関する協定書を締結し、企業再生支援機能を強化するとともに人材の育成を図ることによって地域経済の活性化を目指しております。

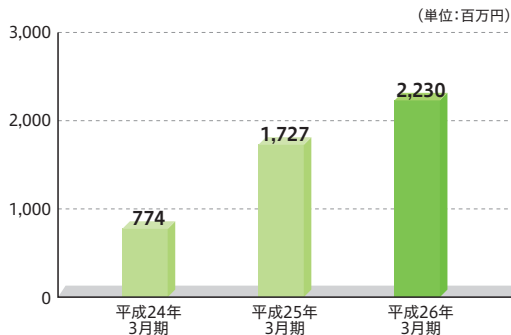
■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト(単体)

コア業務純益の状況

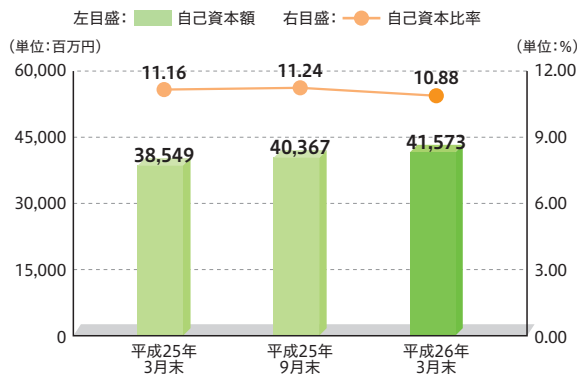
銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、平成25年5月のシステム移行に伴い物件費が増加した一方で、資金利益及び役務取引等利益が増加したことなどから、前年同期比5億3百万円増加の22億30百万円となりました。



自己資本比率の状況

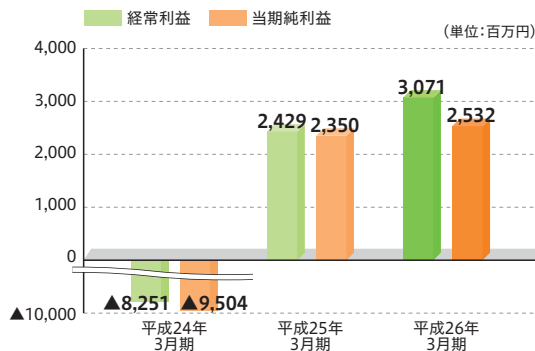
単体自己資本比率は、10.88%となりました。

※平成26年3月末より、改正後の自己資本比率規制(パーゼルⅢ)が国内基準行に適用されたことにより、従来の自己資本比率との算出方法が異なっております。



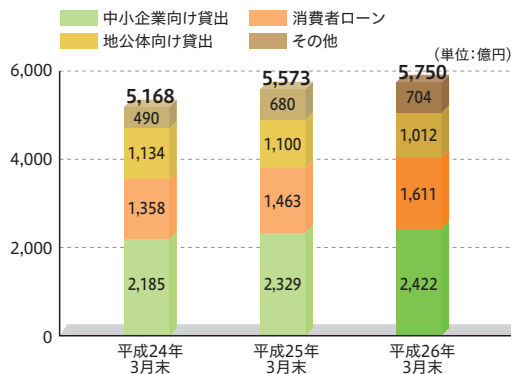
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比6億41百万円増加の30億71百万円、当期純利益は、前年同期比1億82百万円増加の25億32百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要への対応により、中小企業向け貸出や住宅ローン貸出が増加したことなどから、平成25年3月末比177億60百万円増加の5,750億87百万円となりました。

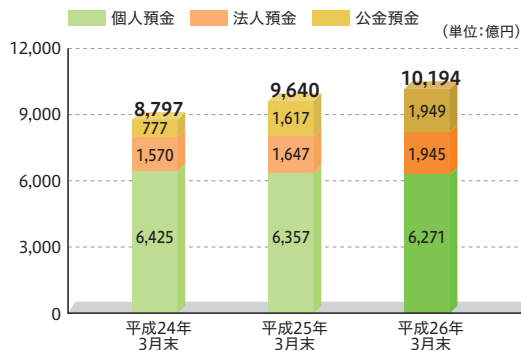


用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

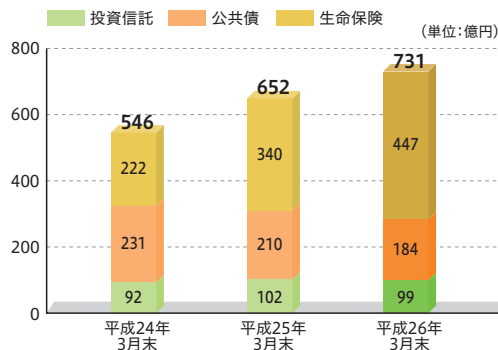
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、システム移行に伴う一部預金科目の移動により個人預金が減少したものの、法人預金や公金預金が増加したことなどから、平成25年3月末比554億26百万円増加の1兆194億38百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により生命保険残高が増加したことなどから、平成25年3月末比78億45百万円増加の731億32百万円となりました。

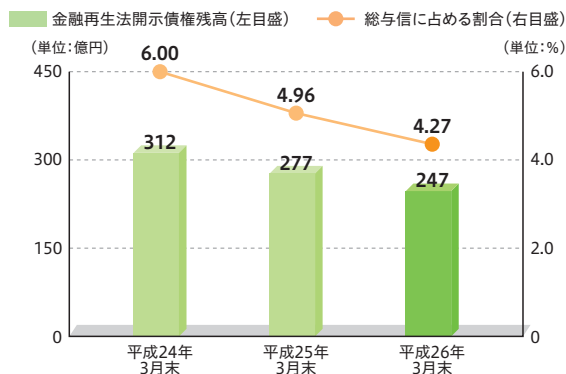


金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、一部の被災企業の業況好転や約定返済などから、平成25年3月末比30億33百万円減少の247億66百万円となりました。

総与信額に占める割合は、平成25年3月末比0.69ポイント低下の4.27%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 【公告掲載ホームページアドレス】 http://www.jimoto-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞、仙台市において発行する河北新報および山形市において発行する山形新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店 （住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等）		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります）
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

お問合せ先

みずほ信託銀行 株式会社

 0120-288-324

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成27年の確定申告の添付資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成27年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 じもとホールディングス

〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-722-0011（代表）
<http://www.jimoto-hd.co.jp/>

株式会社 きらやか銀行

〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
TEL.023-631-0001（代表）
<http://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行

〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241（代表）
<http://www.sendaibank.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

平成26年6月発行